

解決に向けて最後までの支援を



国労仙台

NO. 2552
2009年6月15日
発行責任者 橋本 昭二
編集責任者 武田 昌仙

もう一人の仲間を国労へ

宮城・福島・山形で 闘争団が物販オルグ

JR不採用問題は、4者・4団体を中心に、昨年度内における政治解決解決を目指していたが、混沌とする政治状況もあり、実現することは出来なかつた。しかし、各闘争団は何としても今年こそ解決を「の決意も新たに支援要請の物資販売オルグを展開している。今号では仙台闘争団を始め、各地区で受け入れの予定をしている闘争団の状況や決意、物販オルグの予定などを紹介する。

福島では

福島県内を駆け回る

5月8日の地元郡山を皮切りに6月5日までの約1カ月間、各地区の仲間の協力を得ながら福島県内の物販オルグを取り組んできました。今回の私の車の走行距離は約2千2百キロ、オルグ先で仲間の車を使用することもあり、実際はもっと長い距離を走ったこととなります。今回の最長距離は相馬地区の260キロ、9時の待ち合わせ時間に遅れないようにノンストップで約2時間かけて待ち合わせ場所に向かうことから1日が始まります。帰り道では疲れて睡魔におそわれることも度々で、ヒヤツとしたことも

あつて我慢できないときはコンビニで一眠りするようになっています。

国鉄闘争の意義と経験

さて、国鉄闘争も23年目という長期の闘いを余儀なくされ、地域では「分割・民営化」の経緯を知らない若い仲間が組合役員を担う状況にあり、それだけに国鉄闘争を理解してもらわなければ物販の協力も得られませんが、闘いを風化させないための取り組みも（これまでの経過や現状報告）大切です。その意味においても物販活動は、単に「物を買ってもらおう」だけではなく、国鉄闘争を理解してもらい、支援の輪を拡大する取り組みでもあります。さらに、国鉄闘争の意義（単なる一企業の首切りではなく、

制的合理化であるということ）や経験を通してそれぞれ単組における闘いに何らかの形で活用してもらえれば」という思いを持ちながら年2回の物販オルグを取り組んでいます。

長期の闘争で変化

この20年で、地域の仲間の職場も大きく様変わりし、民間では、支援してくれた単組（職場）が倒産や、会社更生法を申請したり、合理化で大幅に要員が削減されたり、昨年から今年にかけては不況を口実に希望退職という首切りが横行されています。また今日の労働運動の現状を反映し、組合員の減少によって組合の解散や機能停止の状況もあります。官公労関係も例外では

なく、郵政職場の民営化をはじめ職場統廃合が進められて、ここ数年では社会保険の職場が大きく変えられました（オルグの度に職場の雰囲気か息苦しくなっていると感じる）。まさに国鉄「分割・民営化」前と同じであり、意識しながら私たちの経験を活かして話をしました。今回のオルグでは年金機構への移行に伴う発令を直前に不安を隠せない様子でした。また、農林の職場でも、ヤミ専従問題等がマスコミで取り上げられる中、昼休みでなければ会えない状況がつくられています。販路の拡大を追求しつつも職場統廃合や組合員

の減少などによって売り上げも減少傾向にあり、最高時の半分に落ち込んでいるのも事実です。

生活体制の確立を

組織内では、福島県事業センターの独自物販の他にアルパのカタログを活用しての取り組みを行っています。毎月購入の取り組みを行っている貨物

福島分会や季節毎に取り組んでくれている分会もあります。必ずしも全分会の取り組みになつていない現状もあります。闘争団にとって生活体制の確立はさけて通れない課題であり、仲間の皆さんの協力をお願いする次第です。【佐藤正則】

仙台闘争団から決意

喜び合える解決を

物販活動は、私自身にとつて地域の仲間からいろいろ学ばせてもらう場であり、国鉄闘争の意義を再確認する場でもあります。

ただ、何度オルグを重ねても物販を取り組んでもらえない組合もあり落ち込むこともありますが、厳しい職場

実態の中で20年ものあいだ支え続けてくれた仲間の存在が、これまで頑張り続けることができました。そんな仲間とともに「闘ってきた良かった」と喜び合える解決を何としても勝ち取らなければならぬと考えています。それまで闘いは続きますし、粘り強く闘い抜く決意です。【佐藤】

山形は音威子府闘争団

6月16日から県内各地へ

昨年に引き続き関野副団長がオルグに

オルグの日程

北村山地区
6月16日(火)～17日(水)
最上地区

置賜地区
6月18日(水)～19日(金)
6月22日(月)～30日(火)
山形地区
7月1日(水)～7日(火)
7月9日(水)～10日(金)

政治の責任で早期解決を!

5月7日、八幡神社の境内の桜の蕾がほころび始めました。去年より2週間も早い開花です。

3月25日、東京高裁は鉄建公団訴訟控訴審で、地裁判決を基本的に支持し、550万円の慰謝料の支払いを命じる判決を言い渡しました。

おといなっぴだよりから

決しなければならない問題であることが確認され、解決に向けて大きく動き出すとしています。

「雇用・年金・解決金」の要求の実現をめざし、司法場で認定された、国鉄改革 = 政府、政治の責任で早期解決を求めいきます。桜に負けないように、

判決に先立って、2月16日には、与党公明党を始め、野党各党が顔をそろえての集会が都内で開かれ、JR不採用問題の早期解決の決意が表明されました。

課題は、自民党を如何に巻き込むかでしたが、判決後には、自民党としても解

この闘いの一日も早い春を迎えるために、皆さんの、今一度のお力添えを心から訴えます。

2009年5月
音威子府闘争団

家族の思い

政府の心ある決断願う

私たち家族の願いは「夫の仕事と元の生活を返してほしい」これだけです。この問題の解決は、20年に及ぶ、辛く苦しい生活に報いるものでなければならぬと思います。解雇された1047名のうち、すでに52名が他界し、音威子府でも「もう一度働くこと」を思い描きながら2名が解決を

見ることなく志半ばで亡くなりました。一番の理解者であった私の父も安心させることなく旅立たせてしまいました。20年は本当に長い年月であり、どんなに良い解決をして

も、この歳月は返つて来ません。でも、我慢し続けた子どもたちや、よい思い出を作つてあげられなかつた両親にも「良かったね」と言つてもらえるような解決をしたいと思ひます。亡くなった仲間や両親の墓前に一日も早く良い報告ができるよう、政府の心ある決断を願っています。

【家族・杉山智子】

宮城は稚内

稚内闘争団の受け入れ先である宮城県支部では、JR不採用問題の早期解決に向けた闘いの一環として、今年も物資販売オルグ行動を展開している。以下に今後の行動日程等を記載する。

6月22日～7月6日

鈴木勝さんがオルグに入ります

物資販売
オルグの日程

仙総支部
闘争団激励交流会

6月24日(水)18時15分
利府「ミニテイセンター」

宮城県支部

闘争団激励交流会

6月27日(土)18時30分
一ツ木つ会館6F



「国労闘争団を支える会 宮城県支部共催」
国労闘争団を
励ます集い

6月28日(日)11時から
榴ヶ岡市民センター

小牛田運輸区分会
闘争団激励交流会

6月29日(月)18時から
いせ屋

仙台駅連合分会
闘争団激励交流会

6月30日(火)18時から

東工所分会
「拡大班会議」

7月1日(水)18時30分
こくろつ会館2F

北部現業交流会

7月3日(金)18時30分
こくろつ会館6F

